



鳥羽清港会「海の大掃除」開催

7月7日、鳥羽マリンターミナル周辺で鳥羽清港会「海の大掃除」が開催され、466人がボランティアで参加しました。

清港会の吉川勝也会長は「美しいまち、見てみたいまちと思っていただけるよう取り組んでいきたい」と話しました。

参加者らは、手際よく沿道の草刈りやごみ拾いを行いました。また、佐田浜港では伊勢湾防災株式会社、NPO法人中部日本潜水連盟のダイバーらによる潜水作業も行われ、海底に沈んだタイヤなどさまざまなごみが回収されました。



国崎町で「あわびのまち」宣言

7月1日、国崎町海士潜女神社の例大祭が行われました。例大祭では、黒アワビと赤アワビが奉納され、漁の安全や大漁などを祈願しました。

例大祭の後、国崎旅館組合から国崎「あわびのまち」宣言が行われ、組合長の奥田一男さんは「国崎はアワビのまち。伊勢神宮にも古くから献上し、一番おいしいアワビが捕れると自負している。さまざまなアワビ料理を提供したい」と話してくれました。今後は、のれんを使ったPRなどを通じて国崎のアワビが発信されます。



ろこ 櫓漕ぎ大会で大奮闘

7月14日、安楽島漁港で天王祭が開催され、催し物の一つとして木造サッパ船での櫓漕ぎ大会が行われました。

大会では6チームが参加し、沖にあるブイを回って戻ってくる速さと、参加者の仮装や飛び込みなどの評価点との合計で競われ、会場からは笑いや歓声があがって盛り上がりました。

また、大会が終わると自由参加の箱船漕ぎも行われ、参加した里中鯛旬さんは「しんどかったけど楽しかった。一回勝ててうれしかった」と話してくれました。



自転車安全教育モデル校に指定

7月1日、鳥羽東中学校で自転車安全教育モデル校指定式が開催されました。

自転車安全教育モデル校とは、自転車利用に関するルールやマナーの向上を図り、交通事故防止活動を推進することを目的に指定されます。指定式では、生徒会長の赤木一隆さんが鳥羽警察署より指定書を、また、生徒副会長の石野改さんが鳥羽地区交通安全協会より啓発グッズを受け取りました。